

「芦屋市GIGAスクール構想(案)」 目標・方針

文科省 背景

- ・主体的で対話的で深い学びの推進
- ・個別最適化された学びの実現
- ・OECD最低レベルの教育ICT環境の改善
- ・全ての子どもたちに学びの保障ができる環境の実現

目標

一人一人が確実に情報端末を使いこなすための**公教育最先端の活用環境**を構築することで、本市の多様で個性豊かな**全ての子どもたちが、誰一人として取り残すことなく個別最適化された学習**に取り組めるようにすると共に、生涯にわたる**学び方を学ぶ**ことで、子どもたちが未来社会(Society5.0)を切り拓くための資質・能力を確実に育成する。

芦屋市 背景

- ・夢と志をもって自らの未来を切り拓く子どもを育てる。
- ・自らの未来を切り拓く「生きる力」の育成
- ・子どもたちの学びを支える環境の整備

方針1 ICT環境整備

- ①令和2年度に校内ネットワーク(高速LAN無線化)と安定的な通信の整備。
- ②一定学年以上の個人に**端末を貸与し、フル活用**する。
- ③**ICT支援員**拡充を通して、1人1台環境の円滑な運用をサポート。
- ④長期休業等における**家庭でのオンライン学習**を必要に応じて支援。
- ⑤**セキュリティリスク0(ゼロ)**のネットワークシステム再構築

方針2 学び方改革

- ①**授業構成の变革**と、学習者主体の授業への転換。
(学力向上指定校で研究)
- ②**プログラミング学習**をはじめとした、ICT活用授業の充実。
- ③貸与端末を生かしたオンライン学習(**家庭学習との連携**)の研究。

方針3 働き方改革

- ①統合型校務支援システムの充実した更新により、システムを中心とした働き方へシフトし、**勤務時間の適正化**を図る。
- ②**eラーニングによる研修**や**ビデオ会議**等、Microsoft365を活用した協働的な業務の推進。
- ③子供の**学習履歴と校務システムとのセキュアな連携**を研究。

＝子どもたちの学びの多様性と個別最適化の構築＝

学校での学び（校内 LAN 整備）

【授業支援ソフトの活用】

- ① デジタルで配布した資料に対して、デジタルノートテイキングによる情報活用能力の育成
※静止画像等の資料だけでなく、導入等の授業動画を作成し配信（オンデマンド型）
- ① 校内において、リモート授業（ライブ授業）が可能。
- ① 協働学習（学びあい）のツールとして活用。（情報活用能力の育成）
※要求されるアウトプットを分析して、アウトプットする活動。
（児童生徒の考えのアウトプット及び他者からの意見のインプット）
- ① 日本語指導の必要な児童生徒への翻訳支援（多文化共生）

【ドリル教材の活用】

- ① 1時間の授業内で、自分の理解度を見る。
※個人のペースやレベルに応じた繰り返し学習。
- ② 朝学習での習熟度別学習（理解の定着）
※過年度の問題にも取り組む。

【屋外活動での活用】

- ① 植物の成長記録作成（理科）
- ① 自分の動き等を記録（保存）し、動きの確認が可能。（体育）

【リモート授業・ライブ授業・動画】

- ① ②動画（導入場面）を活用した、問題解決学習
- ② 別室登校児童生徒への授業配信
- ③ 民間施設等とのリモート連携
- ③ 小中連携（小学生が中学校の授業をリモート参観）

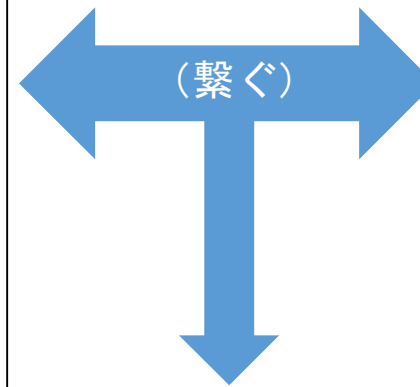
【授業等スタイル】

学習者主体の授業へ転換
アウトプット→インプット→アウトプット（反転授業も視野に！）
プログラミング学習をはじめとしたICT活用授業の充実
オンライン学習（家庭学習との連携）の研究

【必要な研修】

授業力の向上
オンラインの活用

- ① 台数は限定されるが、即実施可能なもの
- ② 一人1台で活用したいが、サーバーの容量が関係するもの
- ③ 学校外のネットワークの高速化が必要なもの



家庭等での学び（インターネット接続環境）

【学習コンテンツの活用】

- ① オンライン授業（オンデマンド型：学習動画）による、学習が可能。
- ① 復習的要素（「NHK for School」など）への活用。
- ② 予習的課題（反転学習）の支援。

【ドリル教材の活用】

- ① 宿題及び理解度アップのためのドリル学習（復習）
 - ・個人のペースで、個に応じた課題選択による繰り返し学習での活用。
 - ・家庭での学習時間や課題でのつまづきなどの把握。

【動画機能の活用】

- ① 音楽（リコーダ練習、鍵盤ハーモニカ練習等）、国語（音読等）の様子を動画撮影
 - ・自主練習などの様子を把握し、練習等のアドバイスに活用。
 - ・家庭練習の見える化で、児童生徒のモチベーションアップにつなげる。

学校と家庭等を繋ぐ

【ライブ授業】

- ① 別室登校の児童生徒への支援（ケア）
- ③不登校児童生徒への支援（ケア）
- ③欠席した時にも、家庭で授業を受けることができる。（学級閉鎖時等）

【双方向授業】

- ②不登校児童生徒への支援（ケア）
- ②別室登校の児童生徒への支援（ケア）
- ③臨時休業時にも、授業を受けることができる。（警報時等）

【児童生徒支援・家庭支援】

- ③リモート家庭訪問（児童生徒の状況把握等）

【学習スタイル】

インプット（反転授業も視野に！）
ドリル学習（スキルの定着）

【必要な環境】

インターネット接続環境

（学校と家庭等をスムーズに接続させるために）

芦屋市のネットワーク環境の整備

芦屋市におけるGIGAスクール環境整備関連スケジュール

令和2年9月2日 開催
 民生文教常任委員会請求資料
 学校教育課 学校教育課

目的：「学校での学び」に加えて「家庭等での学び」をしながら、子どもたちの学びの多様性と個別最適化の構築を図る。

整備方針：令和3年4月からの本格実施に向けて段階的準備を進める。

		R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5
タブレット端末の利用状況							タブレット端末の利用(指導期間) (校内同時接続100台程度)	タブレット端末の本格活用 (同時接続の制限なし)		
ハード整備	ネットワーク構築	校内等LAN整備及び無線AP設置			学習系ネットワーク構築(サーバ構築, セキュリティ強化)			校務系ネットワーク構築(セキュリティ強化) R3.8完了		
		児童生徒用タブレット端末 6233台 指導者用タブレット端末 301台 (議決後本契約・12月末納入予定)			端末設定 (フィルタリングソフト 授業支援ソフト ドリル教材)			各校順次配布 タブレット保管庫納品		
	タブレット 端末整備									
	モバイルルータ	モバイルルータ 9月 361台, 12月 339台納入予定 希望者に順次配布								
人的対応	GIGA スクールサポート	タブレット使用マニュアル作成, タブレット端末の設定, 研修・授業補助 等								
	教職員	カリキュラムの検討, 授業内容の確認 等					タブレット端末使用時の注意点や学習習慣の指導			
学習内容	学校(授業)	(例) ○教科書のQRコードの読み取り活用 ○観察記録の作成 ○デジタルノートテイキング ○個人のペースに合わせたドリル教材 ○別室登校児童生徒への授業配信, ライブ授業 ○協働学習のツールとして利用								
	家庭(宿題等)	(例) ○音読やリコーダー練習等を撮影し動画活用 ○学習に必要な写真や資料等の情報収集								